

ケーブル技術スタッフの機器チェック!

日々開発されるケーブルテレビ関連機器などを、実際に検証しながらチェック! 実用性に焦点をあてて報告します。

No. 174

『CATVシステムの設計と工事』

ケーブルテレビ アーキテクト 上山裕史  
今号は書籍『CATVシステムの設計と工事』を紹介します。

ケーブルテレビ局の技術者は、プライマリーIP電話やインターネットなどミッションクリティカルな双方向アプリケーションに加え、コミュニティチャンネル(コミチャン)放送のためのデジタル放送機器の安定動作に目を光らせています。

今回はケーブルテレビ関係の技術書の中から特色ある書籍を紹介します。ケーブルシステムをシステムインテグレータの立場で全体を見通したいと考える技術者の要望に応える内容です。

紹介する書籍は以下です。

書名:CATVシステムの設計と工事  
著者:関本忠弘  
発行所:東京電機大学出版局  
発行年:1994年第1版4刷

表紙は資料1です。目次を資料2、資料3に示します。

内容は『CATVシステムの設計と工事』というタイトル通り、ケーブル局開設に必要な官庁への申請からシステム設

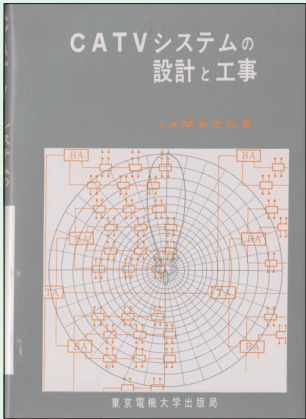
計・工事までを一貫して行う、ターンキーシステム納入する形になっています。

筆者は執筆当時、日本電気(株)社長の肩書きになっています。社内の人材を用いて幅広い内容をまとめています。システムインテグレータの立場でシステム構築を記しています。

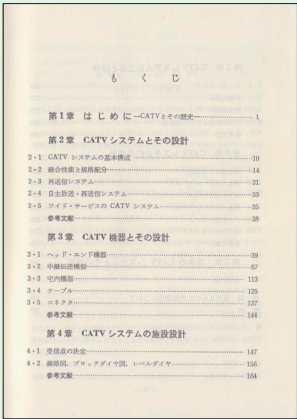
特に目を引くのは幹線増幅器のページです。広帯域を低ノイズ、高利得、平坦な特性で増幅するのは特別な技術でした。資料4、資料5に示すように自社

開発のトランジスタの特性、Sパラメータを図示し詳細を開示しています。RF増幅回路を知りたい技術者に絶好の指針を与えるものと考えます。

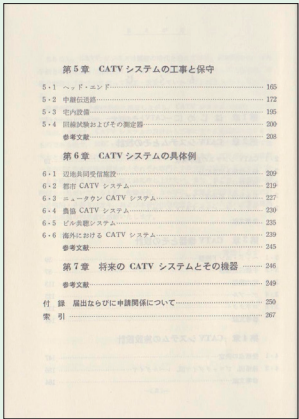
本書は廃刊になっているようですが、図書館で一読されることをお勧めします。



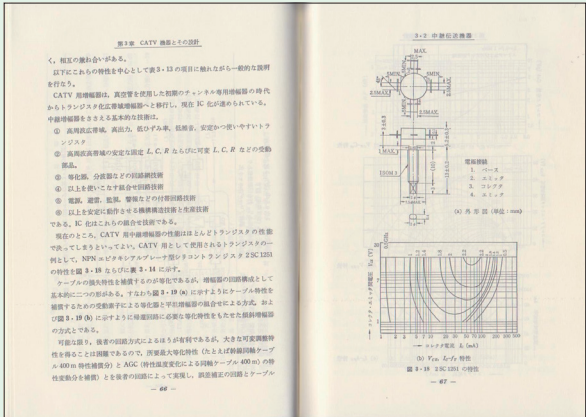
資料1:「CATVシステムの設計と工事」～表紙



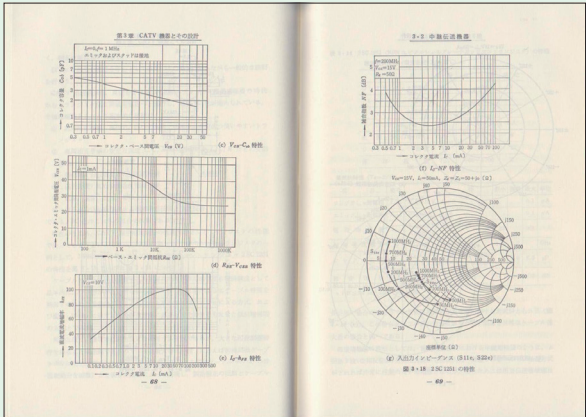
資料2:「CATVシステムの設計と工事」～もくじ1



資料3:「CATVシステムの設計と工事」～もくじ2



資料4:幹線増幅器トランジスタ1



資料5:幹線増幅器トランジスタ2